

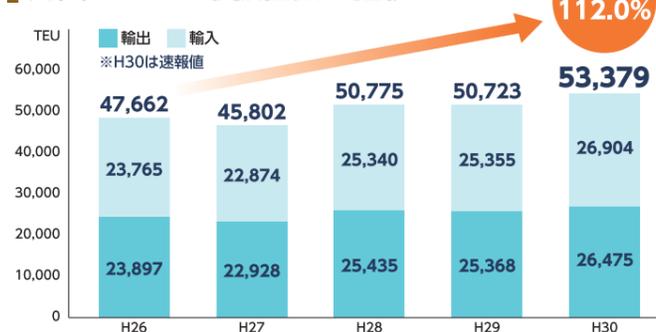
外貿コンテナ取扱個数 過去最高の53,379TEU



外貿コンテナ取扱個数	
輸出	26,475TEU (対前年比104.4%)
輸入	26,904TEU (対前年比106.1%)
合計	53,379TEU (対前年比105.2%)

外貿コンテナ貨物量	
輸出	141,360トン (対前年比 85.3%)
輸入	183,353トン (対前年比104.2%)
合計	324,713トン (対前年比 95.0%)

外貿コンテナ取扱個数の推移



平成30年の外貿コンテナ取扱個数は、53,379TEU(対前年比105.2%)となり過去最高を記録しました。

輸出では、中国向けの再利用資材(古紙等)が減少しましたが、中国向けの水産品やアラブ首長国連邦、マレーシア向けの自動車部品が増加しています。また、中国向けの北海道産米の輸出量も増えてきています。

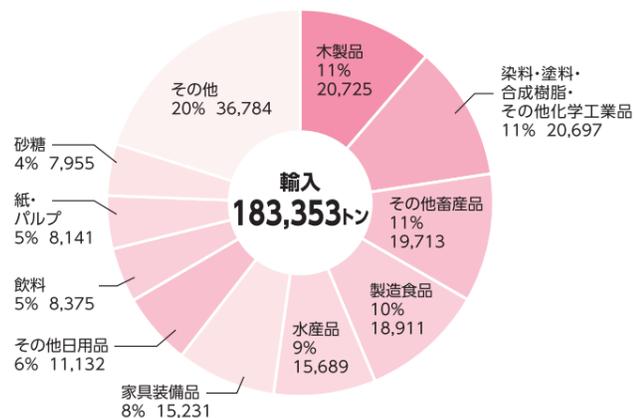
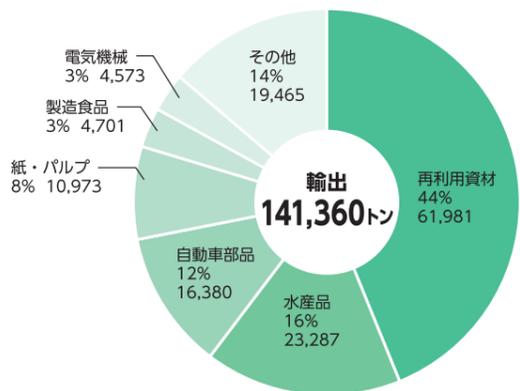
輸入では、フィリピンからの木製品や南米・オーストラリアからの畜産品、タイからの化学工業品などが増加しています。

また、外貿コンテナ貨物の貿易相手国は、輸出入ともに中国が最多であり、次いで韓国、ベトナムとなっています。

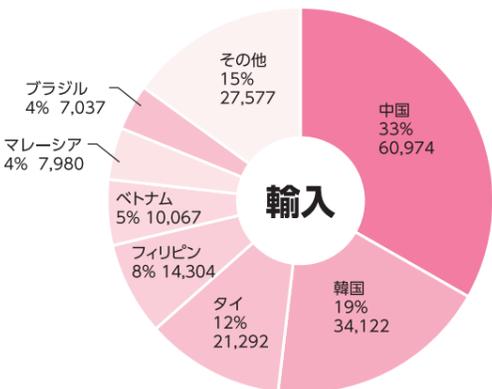
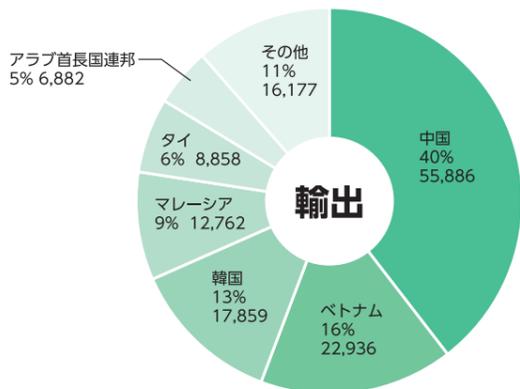


▲外航商船入港7,000隻目となるコンテナ船「SUNNY LILY」

平成30年外貿コンテナ貨物 品目構成 速報値 (単位:トン)



平成30年外貿コンテナ貨物 国別構成 速報値 (単位:トン)



MARINE PRESS

ISHIKARI BAY NEW PORT NORTHERN PORT DAZZLING THE WORLD FROM ISHIKARI



2019 2

石狩湾新港管理組合
石狩湾新港外貿貨物利用促進協議会
北海道石狩市新港南2丁目725-1
Tel 0133-64-6661 Fax 0133-64-6666
http://www.ishikari-bay-newport.jp

取扱貨物量 過去最高を更新

取扱貨物量 664万1,027トン 6年連続過去最高

平成30年の取扱貨物量	
輸出	37万5,658トン (対前年比107.6%)
輸入	359万5,982トン (対前年比116.5%)
移出	36万1,744トン (対前年比117.2%)
移入	230万7,643トン (対前年比 96.7%)
合計	664万1,027トン (対前年比108.3%)

貨物量5年間の推移



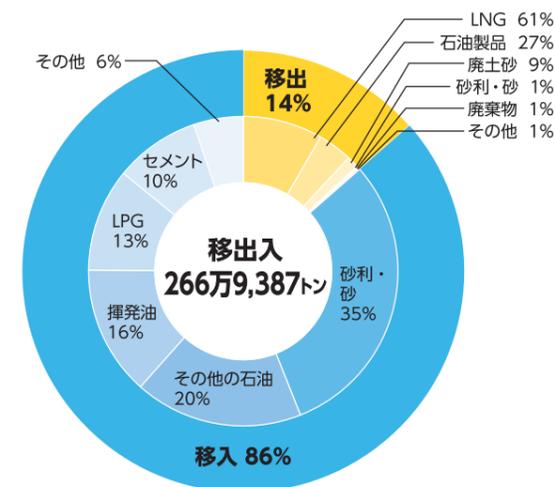
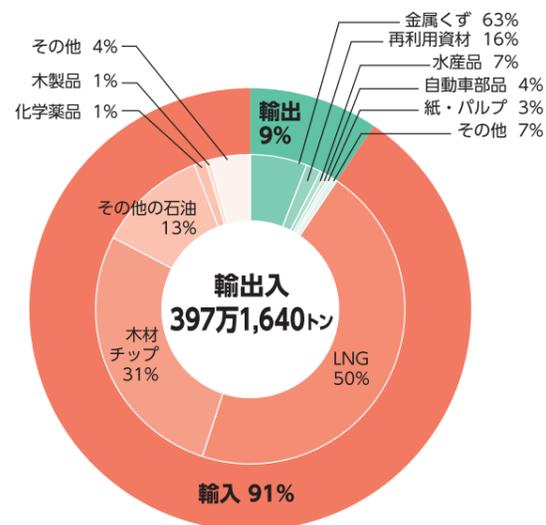
平成30年の取扱貨物量は、664万1,027トン(対前年比108.3%)となり、6年連続で過去最高を更新しました。

主要取扱貨物であるLNG(液化天然ガス)やその他の石油(灯油・軽油等)、砂利・砂、金属くずはいずれも前年を上回り、特にLNGについては、北海道ガス(株)と北海道電力(株)の火力発電用燃料として、今後、輸入量の一層の増加が見込まれています。



▲金属くずの輸出が増加(対前年比127.0%)

平成30年取扱貨物 品目構成 速報値



北海道産品の 輸出拡大に向けて

ISHIKARI BAY NEW PORT

SAPPORO

海外での日本食への関心の高まりなどを背景に、北海道産食品のさらなる輸出拡大が見込まれる中、石狩湾新港は、北海道経済の中心地である札幌圏に位置し、港の背後には北海道最大級の冷凍冷蔵倉庫群が形成されるなど、道産食品の輸出拠点としての役割が期待されています。

今号では、石狩湾新港を活用した輸出事例をご紹介します。

特集

海外輸出に挑戦する企業を支援!

一般社団法人 北海道国際流通機構

代表理事 鳥取 義之 氏



会社概要

当機構は、北海道産品のさらなる輸出促進を目的に産学官が一体となり、商流と物流の課題解決を目指す取組みである「北海道国際輸送プラットホーム(HOP)」を継承する形で平成29年4月に設立しました。北海道産品の輸出促進と海外からの観光客誘致により北海道経済の活性化に寄与することで、可能性溢れる北海道を次世代につないでいきます。

そのため、商流と物流に関するきめ細やかなサービスを安価に提供し、道内企業が海外輸出に挑戦できる環境づくりを果たすことで、道内企業の新たなチャレンジを手助けし、経営者の自信と誇りにつなげ、力強い道内企業の育成に貢献していきます。

当機構では、輸出ノウハウを持つ海外経験の豊富な社員をそろえており、道内各自治体の豊富な企業情報と組み合わせることで、地方の特長を活かした輸出戦略の立案と実現を目指します。

事業内容について

当機構は、海外での高い営業コストや代金の回収、また複雑な輸出手続きなど輸出の障壁を解決するためのオープンプラットフォームとして活動しております。

当機構の主なサービスは、道内企業が輸出に取組む際の各種事務手続きのサポート、海外情報とのマッチング、国内買い取りによる安心の決済機能等の商流支援や、冷凍・冷蔵の小口貨物を集約混載し、海外の指定先まで配送できる仕組み等の物流支援です。

会員企業と連携した輸出事例としては、シンガポールでの飲料の

ネット販売や、国内では流通できないような小さな玉ねぎやじゃがいもを台湾や香港に輸出した実績があります。また、自治体会員との連携による地域振興の事例としては、台湾の百貨店で道産食品の物産展を開催したほか、北海道開発局が実施した被災地の食と観光のPRを通じた復興支援の取組みに協力し、東胆振地域の農産物を台湾へ輸出した実績があります。



▲輸出前の玉ねぎ



▲バンニング(北海道開発局復興支援事業)

石狩湾新港の活用について

本年1月に香港のYATAデパートで開催された「北海道フェア」で販売する道産品を札幌市内にある協力企業の倉庫でバンニングし、石狩湾新港から輸出しました。

石狩湾新港は、貨物が多く集まる札幌圏に位置しており、陸上輸送でメリットがあることや、港の背後には冷凍冷蔵倉庫が集積しているなど、道産品の輸出において優位性が高いと感じています。今後、コンテナ航路の便数や寄港地が増え、道産品の輸出拠点として利便性の高い港になることを期待しています。

今後の取組みについて

最近では、道内で飲食店を経営するお客様からの海外出店をお手伝いする案件も増えています。当機構では、道産食品などの商品の輸送はもちろん、新規出店に付随する食器・調理器具類の輸送も行っています。また、海外でレストランを経営している事業者様向けに道産食品を売り込み、道産品フェアやメニュー開発等に活用してもらうことも検討しています。

今後は、海外の協力企業が経営するアンテナショップを活用し、海外バイヤー向けに新しいタイプの商談ブースを展開する事業や、お客様の小口貨物の輸送ニーズを集約し、当機構でコンテナを手配して定期的に輸出する仕組みの実現を目指して取組みを進めるなど、

商流と物流の両側面から様々なアプローチを展開し、道産品の輸出促進を通じて北海道経済の活性化に貢献していきたいと考えています。



▲北海道フェア(香港)



▲北海道物産展(台湾)

道産米輸出の一翼を担います!

小樽倉庫事業協同組合 石狩湾新港倉庫事業協同組合

事務局長 森田 武治 氏



事業内容について

当組合は小樽市及び石狩市に本拠地を置く倉庫会社9社で構成されており、石狩湾新港の樽川ふ頭背後に4棟の低温倉庫を稼動しています。低温倉庫内は1,000㎡に仕切られ、全部で18倉、約5万トンの収容能力があります。

そのうち2倉が、昨年5月に農林水産省から日本産精米の中国向け輸出が可能なくん蒸倉庫の指定を受け、9月末から中国向けに精米の出荷が始まっています。指定以降、本年1月末までに計6回、約250トンの精米が当施設でくん蒸処理され輸出されています。



▲くん蒸倉庫

石狩湾新港について

石狩湾新港は、大消費地である札幌市の至近距離に位置する地理的優位性があり、取扱貨物量やコンテナ取扱個数が順調に増えています。石狩湾新港地域で操業する当組合の倉庫は、北海道で唯一のくん蒸指定施設であり、今後は北海道産農産物の輸出拠点である石狩湾新港を活用して道産米の輸出を増やすなど、本道経済の発展に貢献できるよう取組んでいきます。



▲消毒処理されたコンテナ



▲くん蒸処理され出荷を待つ道産米



▲中国向け道産米のバンニング作業